



兵庫県養父市ロケーションガイド



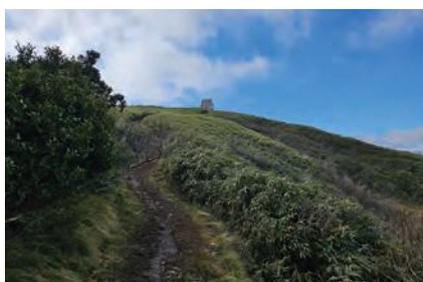
# もくじ

高原	P.1・・・氷ノ山	P.2・・・鉢伏高原	P.3・・・杉ヶ沢高原
滝	P.4・・・不動滝	P.5・・・天滝	
溪谷	P.6・・・横行溪谷		
神社	P.7・・・養父神社	P.8・・・名草神社	
寺院	P.9・・・浅間寺	P.10・・・日光院	
家屋	P.11・・・大庄屋記念館	P.12・・・青谿書院	
学校	P.13・・・おおやアート村 BIG LABO	P.14・・・日の出ホールディングス株式会社 食品カンパニー但馬醸造所	
城跡	P.15・・・八木城跡		
鉱山	P.16・・・明延地区		
養蚕	P.17・・・大杉重伝建地区		
産業	P.18・・・建築工房ヴェネックス	P.19・・・旧ゲンゼ棟	
歌舞伎	P.20・・・葛畑農村歌舞伎舞台		
支援内容	P.21・・・支援内容について		
ロケーション MAP	P.22	P.23・・・ロケーションMAP	
アクセス MAP	P.24・・・アクセスMAP		
ロケ実績	P.25・・・ロケ実績		

氷ノ山(ひょうのせん)は、兵庫県養父市と鳥取県八頭郡若桜町との県境にある標高 1,510 メートルの山で、「日本二百名山」や「ふるさと兵庫 50 山」のひとつに選定されています。冬は積雪が多く、雪山登山やバックカントリースキー・スノーボードを楽しむ人で賑わいます。兵庫県の最高峰で夏の新緑、秋の紅葉、冬の樹氷等の様々なロケーションでの撮影が可能です。山頂はチシマザサの草原が広がっています。冬になると大雪原になっており、季節によって様々な表情を見せます。登山道沿いに登っていけば見事なブナ林が広がっています。山頂にはバイオトイレと避難小屋が設置されており、休憩ポイントとしても利用可能です。



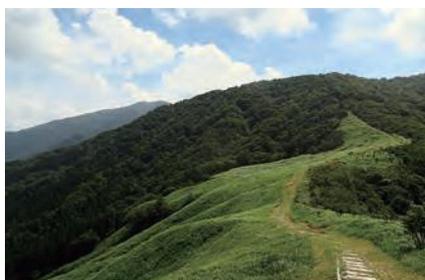
空撮動画



兵庫県養父市の鉢伏高原は「ハチ高原」の愛称で親しまれ、標高約800～1,200メートルに位置する観光スポットです。西日本有数のスノーリゾートとして冬は多くのスキー客で賑い、夏にはキャンプやハイキング、パラグライダーも楽しめる一大レジャースポットです。ウィンタースポーツの撮影はもちろん、リフトやスキー場施設を写さない位置取りも可能です。春は積雪した山々をバックにアルプスの様なシチュエーションを作ったり、秋には紅葉やススキのノスタルジックな雰囲気を出したり、高地ならではの抜けるような青空も魅力です。季節ごとに全く異なる表情を魅せるので、ドラマやMVなど様々な用途・シチュエーションの撮影がおこなえます。宿泊施設が豊富にあり滞在にも便利です。



空撮動画



杉ヶ沢高原は兵庫県養父市にある高原で、氷ノ山後山那岐山国定公園に指定されています。標高は720メートルから850メートル、面積は約300ヘクタールあります。谷から斜面にかけてススキが茂り、尾根から斜面にはカシワ林が広がっています。国定公園区域に指定される以前は放牧場として利用されていました。秋には見渡す一面がススキに覆われ、春にはススキが雪で倒れて、本来の高原地形が見やすくなります。昭和45年に県の事業で畑が開墾され、現在では轟大根の生産地として有名です。観光地化がされていない農地のため、見方によっては北海道のような雰囲気もあり、長閑な田舎のシチュエーション撮影に適しています。映画「レジェンド&パタフライ」のロケ地にもなっており、歴史ドラマ・時代劇の撮影実績もあります。



高原

# 滝 | 不動滝

所在地 | 兵庫県養父市大屋町若杉

滝

不動滝は兵庫県養父市大屋町若杉にある滝です。駐車場はありませんので、入口近くの路肩に駐車することになります。案内板の位置から階段を降りて、渓谷沿いの遊歩道を少し歩くと東屋があり、座って休憩することも可能です。滝までは入口から2分ほどで到着します。距離が短いため、積雪時の冬の滝を撮影するのに適しています。滝の前には木製の滝見橋があり、渡って滝を眺めることができます。落差13メートルとあまり高くはありませんが、水量は多く、岩の裂け目から流れ落ちる滝には立体感と奥行きがあります。滝壺の前まで行くと水しぶきを間近で感じられる神秘的な滝です。

渓谷

神社

寺院

家屋

学校

城跡

鉱山

養蚕



産業

歌舞伎

支援内容



ロケーション  
MAP

アクセス  
MAP

ロケ実績



# 滝 | 天滝

所在地 | 兵庫県養父市大屋町筏

兵庫県養父市大屋町筏にある天滝（てんだき）は、「日本の滝 100 選」に、天滝のある天滝渓谷は「森林浴の森日本 100 選」「ひょうご森林浴場 50 選」に選ばれています。登山口から天滝までは約 45 分のコースで、よく整備された歩きやすい登山道が続きます。道中には、糸滝、連理の滝、夫婦滝、鼓ヶ滝など、様々な滝が見られます。また、赤く塗装された天滝 7 号橋はレンティキュラートラス橋という珍しい構造の橋で、2023 年 12 月に建造されました。登山道を進むと突如として巨大な滝が現れます。落差 98 メートルを誇る天滝は、天から水が降り注ぐような荘厳な姿から名付けられました。大阪の通天閣（高さ 100 メートル）に近いスケール感で、その大きさをイメージしていただけます。

高原

滝

渓谷

神社

寺院

家屋

学校

城跡

鉱山

養蚕

産業

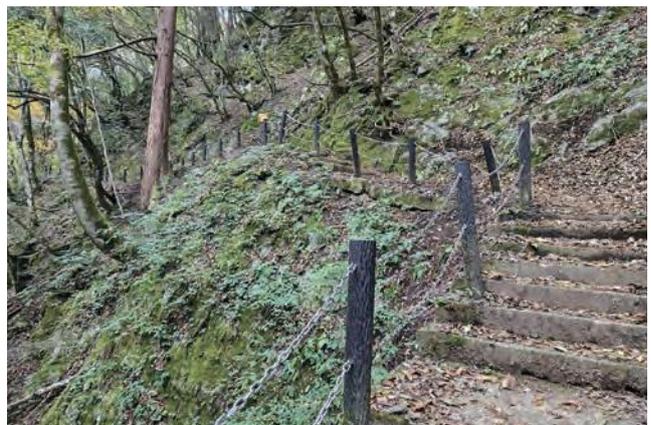
歌舞伎

支援内容

ロケーション  
MAP

アクセス  
MAP

ロケ実績



高原

# 渓谷 | 横行渓谷

所在地 | 兵庫県養父市大屋町横行

滝

渓谷

横行渓谷（よこいきけいこく）は、養父市大屋町横行にある渓谷です。林道が整備されており、車で移動しながら様々な滝など渓谷沿いの美しい景観を楽しむことができます。付近には「平家ヶ城（へいけがじょう）跡」「姫が淵（ひめがぶち）」といった、平家伝説にまつわる岩盤や淵も見られ、歴史ロマンを秘めたスポットでもあります。広葉樹を主とした自然本来の姿で、新緑や紅葉の美しさは見事です。人工物が写り込まないロケーションなので時代設定を問わないシチュエーションや、自然や清流をテーマにしたイメージカットの収録等にも適しています。

神社

寺院

家屋

学校

城跡

鉱山

養蚕



産業

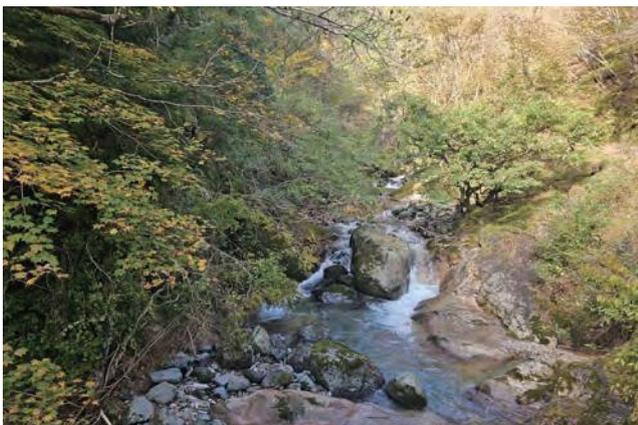
歌舞伎

支援内容

ロケーション  
MAP

アクセス  
MAP

ロケ実績



養父神社（やぶじんじゃ）は、兵庫県養父市養父市場にある神社で、但馬国三宮で但馬五社のひとつです。赤い橋（養父神社御神橋）を渡って苔むした広い境内に入ると、厳かな雰囲気静けさが満ち溢れます。拝殿や本殿は、荘厳な雰囲気を漂わせ、訪れる人々に神聖な空気を感じさせます。社殿の周囲には老樹が茂り、静かな環境の中で自然と歴史が調和しています。養父神社は兵庫県下でも有数の紅葉の名所として知られており、紅葉の季節には赤い養父神社御神橋にも負けない、真っ赤な紅葉が見られ、多くの写真家や観光客で賑わいます。冬の雪景色もまた趣がありますので、様々な季節の撮影に対応可能です。



- 高原
- 滝
- 溪谷
- 神社
- 寺院
- 家屋
- 学校
- 城跡
- 鉱山
- 養蚕
- 産業
- 歌舞伎
- 支援内容
- ロケーションMAP
- アクセスMAP
- ロケ実績

高原

# 神社 | 名草神社

所在地 | 兵庫県養父市八鹿町石原 1755-6

滝

溪谷

神社

寺院

家屋

学校

城跡

鉱山

養蚕

名草神社（なぐさじんじや）は、兵庫県養父市に位置する歴史ある神社です。名草神社の象徴的な建造物として三重塔があります。この塔は江戸時代初期の寛文5年（1665年）に、出雲大社より移築されました。本殿は桁行が9間（17.6メートル）で、梁間が5間（9.0メートル）、また拝殿は桁行が5間（11.7メートル）、梁間が2間（5.2メートル）といずれも大きな建造物です。屋根の形式は入母屋造です。名草神社にある本殿、拝殿、三重塔の3棟の建造物は国指定文化財となっており、国指定の建造物が3棟も並ぶ場所は珍しく、北近畿でも他にはありません。冬季は積雪のためアクセスが困難となります。



産業

歌舞伎

支援内容

ロケーション  
MAP

アクセス  
MAP

ロケ実績



兵庫県養父市八鹿町浅間（あさま）にある浅間寺（せんげんじ）は730年に開基された由緒あるお寺です。浅間寺の薬師堂には、県指定文化財の薬師如来坐像を中心に、日光菩薩立像・月光（がっこう）菩薩立像と、12体の十二神将立像があり、合計15体の仏像があります。本堂は元禄15年（1702年）に建立されました。内陣と外陣に区切られた梁間三間、桁行四間の本堂は、肘木組みや墓股など、鎌倉時代の巧みな建築様式を伝えています。本堂の墓股には全国的にも大変貴重な17個の彫刻を見ることができます。敷地内には心字池があります。鎌倉時代の造園を基調とした作庭で、江戸時代後期に作られたものです。講堂は平成13年に大改修が行われました。



高原

滝

溪谷

神社

寺院

家屋

学校

城跡

鉱山

養蚕

産業

歌舞伎

支援内容

ロケーション  
MAP

アクセス  
MAP

ロケ実績

高原

# 寺院 | 日光院

所在地 | 兵庫県養父市八鹿町石原 450

滝

溪谷

神社

寺院

家屋

学校

城跡

鉱山

養蚕

日光院（にっこういん）は兵庫県養父市八鹿町にある高野山真言宗の寺院で、日本三妙見の一つとして有名です。山門を登って境内に入ると、樹齢600年の大イチョウがあります。秋の紅葉の時期になると黄金の絨毯を敷き詰めたような景色で、市内の人気紅葉スポットとして多くの観光客やカメラマンが訪れます。落ち葉の下は分厚く柔らかな苔の絨毯が敷き詰められていて趣があります。正面には日光院本殿があり妙見大菩薩をお祀りしています。横には薬師堂があり、宝の道の毘沙門天もこちらにお祀りされています。冬は雪が積もりますので、積雪した寺院のロケーション撮影も可能です。



産業

歌舞伎

支援内容

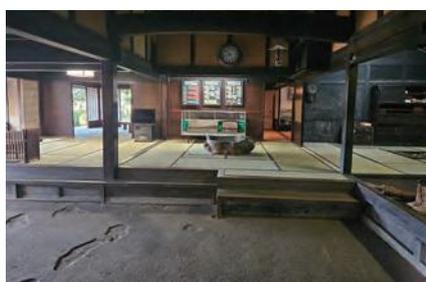
ロケーション  
MAP

アクセス  
MAP

ロケ実績



大庄屋記念館は、養父市小城集落の高台にあります。江戸時代後期に出石藩の大庄屋を勤めた長島善右衛門の時代に建てられました。広大な 3,700 平方メートルの敷地は、上段・中段・下段の 3 段構造となっており、下段に管理棟があり、中段には母屋・客殿・土蔵、上段には納屋・物置があります。中段の母屋と上段の納屋の間は帯状の段となっており、地神の社があります。庭園は表座敷前にある母屋の庭園、客殿横にある裏庭園、さらに母屋の西方の庭園と 3 箇所あります。石造りの施設に注目すると、下段から中段にあがる母屋の玄関に続く登り石段、中段の土蔵前から上段の納屋まで一直線に伸びた登り石段があります。当時の状態で保存されており、養父市の指定文化財となっています。ドラマ「ガンニバル」のロケ地として撮影実績があります。



青谿書院は、幕末から明治の初めにかけての儒学者・教育者で「但馬聖人」とも呼ばれた池田草庵により開かれた漢学塾です。敷地面積は1,100平方メートル、弘化4年（1847年）から明治11年まで、日本の近代化を担った多くの人材を育成しました。草庵の没後、門弟たちにより「青谿書院保存会」が結成され、その遺物遺構が現代に残されています。塾舎は住宅としても利用されていたため、多少の付設・改変はありますが、現在も当時に近い姿で保存されています。木造茅葺2階建の主屋に瓦葺の平屋が付属しており、1階には8畳が2部屋、6畳が4部屋あります。幕末の趣を現代に残す貴重な遺構とされ、昭和45年3月30日に兵庫県の指定史跡となりました。歴史ドラマや田舎のロケーション撮影に適しています。

